

令和5年10月30日(月)

太田市議会
議長 矢部 伸幸 様

公明党代表 星野 一広

第85回 全国都市問題会議 参加報告書

1、期 間

令和5年10月12日(木)～10月13日(金)までの2日間

2、会場及びテーマ

会 場 : 青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール

テーマ : 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

3、参加者

星野一広、高橋えみ、前田純也、谷之木勇作

4、会議日程

第1日 (10月12日)

開会式

| | | |
|---------|---------|---------------|
| 開会挨拶 | 全国市長会会長 | 福島県相馬市長 立谷 秀清 |
| 開催市市長挨拶 | | 青森県八戸市長 熊谷 雄一 |
| 来賓祝辞 | | 青森県知事 宮下宗一郎 |

基調講演

アートの役割って何だろう？

東京藝術大学長、アーティスト 日比野克彦

主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

青森県八戸市長 熊谷 雄一

一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美

一般報告 標高差 1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
長野県東御市長 花岡 利夫

一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用
株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木 秀樹

以上で第 1 日の日程を終了

第 2 日(10 月 13 日)

パネルディスカッション

テーマ 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

コーディネーター

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理

パネリスト

合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子

拓殖大学商学部教授 松橋 崇史

静岡県沼津市長 頼重 秀一

京都府綾部市長 山崎 善也

閉会式 次期開催市市長挨拶 兵庫県姫路市長 清元 秀泰

閉会挨拶

公益財団法人日本都市センター理事 奥山恵美子

以上で第 2 日の日程を終了

5、所感等

第 85 回全国都市問題会議は、三年以上にわたった新型コロナウイルス感染症が、感染症法上 5 類に移行したことに伴い、通常の方式にて青森県八戸市の八戸公会堂を会場に、全国各地から首長や議員等約 1,800 名が集い開催された。

今回の都市問題会議は、「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマとして、様々な角度から基調講演や主報告、一般報告に加え、2日目にはパネルディスカッションが行われ、それぞれの分野で活躍されている方から貴重な話を伺うことができた。

東京藝術大学、日比野克彦学長の基調講演で特に感銘を受けたのは、「国連が掲げている SDGs の 17 のゴール及び 169 のターゲットの中に、芸術や文化という言葉が見当たらない。東京藝術大学として、SDGs×ARTsを発信していきたい。」とあり、その理由として、「アートは人の心を動かす力を持っている、そしてその可能性を秘めている。一人の人の心が動けば、時代を変えていくことができるかもしれない」との言葉だった。

アーティストの方たちの発信力には、そのような想いが込められているのかと、深く感銘するとともに、本市においても、アートの果たす役割を探ることが大事だと感じた。

主報告の熊谷雄一八戸市長は、「八戸市の文化とスポーツによるまちづくり」と題してそれぞれの取り組みを紹介、古くは八戸三社大祭から最近では、2011 年に開館した「八戸ポータルミュージアムはっち」を中心に様々な取り組みが展開されており、中でも市内に 13 カ所ある横丁を盛り上げようと、「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター」を実施、大道芸人やアーティストたちが、いつどこで誰が現れるかわからないが、その場でお客さんたちと盛り上がり、結果、未利用資産であった空き店舗も減り町に賑わいが戻っており、仕事帰りのサラリーマンなどの息抜きの場になっているとともに、まちの再生にもつながっていることを実感、太田市でも同じものはできないにしても、充実したマルシェの開催などで、まちの賑わい創出ができないか考えさせられた。

またスポーツでは、プロアイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」やプロバスケット B リーグに所属する「青森ワッツ」など 4 種目のプロスポーツチームが、八戸市に拠点を置いており、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、市民の多様なかかわりを提供していることから、太田市でも、「群馬クレインサンダーズ」を中心に更に元気なまちを目指して、取り組みたいと感じた。

ほかにも各分野の方の一般報告、パネルディールカッション等があったが、大いに参考になった。

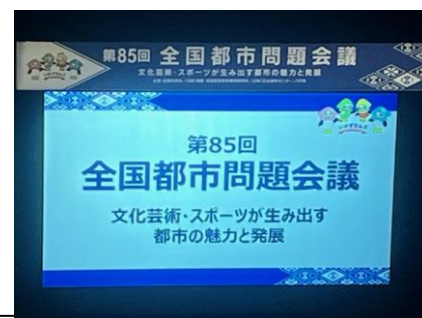
今回の都市問題会議は、全体として非常にわかりやすい、そして参考になる内容が多かったと感じている。

この 2 日間で、学んだことをどのように生かしていけるか、会派でも協議しながら進めてまいりたい。



左) 会場入口にて

下) 会場内スクリーン



左)「はっち」の前景

下) 施設の案内板



山車の展示風景



八戸三社大祭で活躍